

福岡海星

第50号

福岡海星女子学院
附属小学校
理事長 嶋田吉勝
福岡市南区老司5-29-2
TEL 092(565)4951
FAX 092(565)4959

豊かな自然の恵みを生かして

福岡海星女子学院附属小学校

校長 深井隆弘



豊かな自然の恵み

○本校の敷地内にある森を「ガイアの森と呼んでいます。『ガイア』とは、ギリシャ神話に登場する大地の女神のこと。豊かな自然と創造力の象徴として捉えられています。

子どもたちはガイアの森が大好きです。夏にはカブトムシやクワガタなど人気の虫たちを捕ることができ、それだけではありません。栗やキウイ、グミなどの木の実を収穫し、食べて楽しむことも可能です。

またガイアの森は子どもたちの遊び場にもなります。探検ごっこや秘密基地づくりといったワクワクするような時間を過ごすことができます。

○本校に隣接する老司大池も自然豊かな場所です。老司大池に住んでいるアカミミガメ、五月から七月にかけて、産卵のために南運

動場によつてきます。二か月くらいで赤ちゃんが生まれます。また、渡り鳥の休息地であり、理科の観察に必要なミジンコの採取場所でもあります。

これら海星小学校の豊かな自然の恵みは、子どもたちに思考力と情操を育む機会をたくさん与えてくれます。

宗教と理科を中心に

○本校は、豊かな自然の恵みとカトリック校としてのよさを生かし、理科等を中心に主体的・対話的に学び行動する子どもの姿を目指した教育を行っています。

カトリック校としてのよさは、隣人愛を行動で示す子どもを育てることにあります。聖書をもとに自分の考えや態度を見直し、行動化を図る学びを大切にします。そのために、相手を尊重し話を聴くことを大切にした聴き合い活動を教科等で行っています。

○低学年では生活科を中心に、算数や図工、音楽な

どもガイアの森に親しむ学習を行います。また、水釣りなどの楽しい実験をしながら科学の不思議さについて学ぶ「科学の広場」を行っています。この学びを三年生以降の理科につなげています。

中学年では、観察や実験を中心にした体験的な理科の学習を行います。ツマグロヒョウモンチョウは幼虫から育てます。サナギから孵化する様子を観察し、育てた生き物が成虫になった喜びと飛び立っていく別れを経験します。理科で大豆を育て、国語で大豆の価値を学び、総合的な学習の時間にみそづくりを経験します。

高学年では、ICTを活用して観察・実験を行う理科の学習や、これまでの学びを自分の生活と関連させ、地球環境を守るために自分ができる行動について考える、総合的な学習の時間や社会の学習を行います。

このように宗教と理科等を中心にした学習を通して、人や自然に親しみ、人や自然について考え、人と地球環境を大切にする生き方を身につけた子どもを育てる教育を進めています。

森に囲まれた すばらしい教育の場

副校長 増本沢美



「先生、この虫何という名前ですか。」

朝の挨拶運動に立っていると、多くの虫かごを抱えて登校する子どもたちに出会います。その日は虫かごにカミキリムシと木の枝を入れ、嬉しそうに語りかける子どもたちの姿がありました。

「カミキリムシはバラの花の根っこにも卵を産んで根や茎を食べるのですよ。」

「そして、食べられていくと、茎の下の方から、ぽろぽろと粉になって剥がれていつてしまうのですよ。」

「へえー。」と目を丸くして聞き入ってくれます。

海星小学校の子どもたちは生き物が大好きです。特に低学年の子どもたちは、男の子も女の子も手のひらにツマグロヒョウモンの幼虫を這わせて嬉しそうに見つめています。

世の中では「理科離れ」が叫ばれる昨今ですが、本校では全く逆です。子どもたちにとっては「理科命」とも言いましょうか。

この「理科命」となる大きな要因の一つは学校を取り囲むように生い茂る「ガイアの森」の存在が大きいのではないのでしょうか。数百種の植物が生息し、その植物に守られるように生きている虫や数々の野鳥。子どもたちはその森の息づかいを毎日肌で感じ、足を踏み入れ、そこに生きる生物と出会う。そして、その生き物たちとの数々の対話。何と素晴らしいことでしょう。

今後も「ガイアの森」と共に成長していく子どもたちにはここで学んだことを生かし、森を守り、地球上の生き物と共存できる人間としての道をしっかりと歩んでいつてほしいと願っています。





いちねんせいになって

「ねんくわはらりないちねんせいのじゅぎょうでたのしかったことは、「かがくのひろば」で、すらいむをつくったことがたのしかったです。とくに、いろをこうかんするところが、たのしかったです。



海星に入学して

一年 惺政の父
徳永 佳尚



息子が海星に通い始めて二ヶ月。元々あまり多くを語るタイプではないのですが、ポツポツ話してくれるところによると、授業、友達との遊び、ガイアの森探索、図書館での読書と、どうやら楽しんでいるようです。何回見ても自分が二十七年前まで過ごしていた海星の校舎や校庭を息子が歩いているのは不思議な感じがします。入学式、参観日、FSDと見る度に馴染んできている様子を見て微笑ましく思います。昔も今も変わらない海星の温かい空気の中で、友人達や先生方と関わりながら彼が成長していつてくれることを楽しみにしています。

ちいさいうち

二ねんくまはら まどか
「ちいさいうち」の本を読みました。小さいおうち、なんともあつて、どうぶつや人が、ぜんいん小さくて、おほしさまは、大きいんだと思います。そして、小さい町でも、きせつが、かわるんだなと思いました。小さい町でもわたしたちみたいにくらしているんだなと思いました。



百冊読書日記

二年 雄伍の母
眞田 かおり

二年生になり百冊読書日記が始まりました。いろいろな種類の本が揃っています。苦にせず読書に取り組んでいます。

小さな頃より図書館へ出かけてはたくさん本を読み聞かせていました。当時

は息子にとって良い事なのか自問自答しながらではありましたが、今の読書体験の基礎となつていいるのではないかと感じています。

毎日楽しそうに本を読んでいる姿は頼もしく、苦手としていた自分の感想を文章に表すことも少しずつできるまで成長しました。中には難しく感じる本もあるかもしれませんが、貴重な体験に感謝しつつ、どんどん挑戦して読解を深め、心豊かに成長してほしいと願っています。



昆虫を育ててみて

三年 嘉村 莉子

理科の学習でいろいろな生きものの観察をしました。知らないことがたくさんありました。お世話になったのしかったです。さいしょは生きものやよう虫のことがあまりくわしくなく苦手でした。でも、今では、いろいろな生き物やよう虫にくわしくなりました。しかも、観察を通してこん虫が大好きになりました。

生物との暮らし

三年 秀和の父
藤井 秀幸



三年生の理科の実習にて、モンシロチョウの観察を行いました。掃除や餌やりを慎重に行い、何度も幼虫のいるケースを眺め観察しておりました。無事に蝶の姿となるまでを観察し終えたとき、小さなケースで羽が傷つかなくて良かった、という思いを聞きました。

息子の蝶を思いやる優しさ、羽が傷つくかもしれないことに目を向けられたことに、大変驚きました。生物には特徴があり、その違いに心を配ることは、自分の視野を拡げること、自他の違いに気づき、共に大切にしている優しい心や生き方を身につけることに繋がると思っております。

初めての委員会活動
四年 井手野 夏英
わたしは、放送委員会になって「すぐく大切な委員会だなぁ。」と思いました。どうしてかという放送委員はチャイムテープを鳴らす仕事をわすれると学校全体にめいわくがかかってしまうからです。今まで当たり前だと思っていたことが、じつはだれかが人の見ていない所でごんぱつていていることを実感しました。



させていただき、先生方には大変感謝しております。

わたしが当番の時、チャイムテープを鳴らすのがおそくなつてしまいました。すると当番の日じやない人が放送室に来てくれて、助けてもらったこともあります。これからもみんなで助け合って仕事に取り組んでいきたいと思いました。

初めてのクラブ活動

四年 小椎尾 興映

ぼくのクラブ活動はドッジボールクラブです。

クラブでは、キャッチボールをして人のボールをとれるようにする練習をしました。次に、正かくにボールを当てられるようにまると当てをしました。そして、中当てをしました。さい後にドッジボールのゲームを二回しました。

ドッジボールで人を当てるコツは、相手のむねにねらいをさだめる事です。また、ちゃんとキャッチをするにはむねでがっちりとおさえる事が大切です。つまり、むねでボールを止められるか、止められないかが問題だという事が今回のクラブ活動をして分かりました。次の活動が楽しみです。

このような貴重な経験の機会を与えて下さったお友達、先生方に感謝申し上げます。

初めての委員会

四年 菜々美の母

野元 里美

下校中の車の中で「私、運営委員会に選ばれたよ。」とどこか自信なさげに話をしてくれました。「どんな事をするの?」と尋ねると、「学校全体をまとめる代表なんだ。先生に呼ばれて選ばれた事聞いた時は少し

悩んだけど、私頑張つてみようと思う。」と最後は力強く話をしてくれました。表舞台に立つ事があまり得意ではない娘が学校の代表になると決断した事に驚き、同時にとても嬉しく思いました。

FSDでは全校生の前に出て応援合戦をしている姿を見て娘の成長を感じました。

この島民がいいます。漁業文化が深く、自分達で食べる物はほぼ自給自足の生活をしています。



自然宿泊体験学習

五年 神馬 咲良

私達五年生は、自然宿泊体験学習に行ってきました。この自然泊は、長崎県の青島にホームステイして、自然と親しむような学習です。青島は小さな島で、人口も少なく、二百人近く

の島民がいいます。漁業文化が深く、自分達で食べる物はほぼ自給自足の生活をしています。

私がこの自然泊に行つて一番楽しかったのは、五年生みんなと海に行つたことです。青島の海の近くの砂浜は「宝の浜」といつて、その名の通りシーグラスや貝がらがたくさんある、いい海岸です。

三日間の自然泊で、私は、みんなと水遊びをしたり、さつまあげを作ったりしてとても楽しかったです。



自然宿泊体験を終えて

五年 亨丞の母

神保 友香

「ママ、猫、飼いたい!」自然宿泊体験から帰つた日、息子は開口一番にこう言つた。「は?猫?」私は思わず聞き返した。自然宿泊体験に送り出す

前、息子に關していろいろ気がかりなことがあつた。人様の家に泊まるのに失礼なことをしないか?同じ班の友人とうまくやれるか?食事の好き嫌が多いけど大丈夫だろうか?困つた事があつた時すぐに相談できるだろうか?などなど

しかし息子の「猫!」の一言でそれらが全て杞憂だつたと悟つた。いえ、失礼をしているかも知れないし、友人とけんかもしているかも知れないけど。少なくともそれを十分に上回るだけの楽しい体験をして帰つてきたのだと表情が伝えていた。

非日常の中にある、特別な学び。体験学習つて素晴らしい。

先生方は日常でも大変な中、細やかに配慮し大胆に子供達を連れて行つて下さつた。毎年、労を厭わず尽力して下さいる先生方に感謝を申し上げます。

「ママ、猫、飼いたい!」自然宿泊体験から帰つた日、息子は開口一番にこう言つた。「は?猫?」私は思わず聞き返した。自然宿泊体験に送り出す

海星のルーツを探つて

六年 松本 悠靖

四月二十三日〜二十五日、二泊三日で海星のルーツを探る修学旅行に行きました。ぼくは、海星小学校

のルーツは、自国の人も異国の人も分けへだてなく助けたという奉仕の精神だと考えました。見学地で学んだドロ神父様や五人のシスターは、文化、風土、言語など何もかも違う人々のために尽くしました。それは、奉仕の精神があつたからできたことだと思ひます。一年生の頃から先生方がおつしやつていた「小さなマリア様」にとても近いと思ひました。

この三日間で、被爆のマリア、出津教会など、多くの発見があり、一生忘れられない修学旅行になりました。

ねたとところ、原爆資料館と即答でした。日頃から戦争に關する映像や本をよく見ていたので納得の答えでした。本では知り得なかつた事がそこには実在し、戦争についてもっと身近に感じる事ができたと思ひます。なぜ原爆投下に至つたのか、被爆の惨状など実際に訪れないと分からなかつた事が知れるよい機会になつたと思ひます。今もなお世界では戦争が繰り返されています。だからこそ、私達は恵まれた環境にある事に感謝し、世の中の為、学校の為、何ができるかを考え、行動できる人になつてほしいと思ひます。先生方、貴重な体験をさせて頂き心から感謝申し上げます。

ねたとところ、原爆資料館と即答でした。日頃から戦争に關する映像や本をよく見ていたので納得の答えでした。本では知り得なかつた事がそこには実在し、戦争についてもっと身近に感じる事ができたと思ひます。なぜ原爆投下に至つたのか、被爆の惨状など実際に訪れないと分からなかつた事が知れるよい機会になつたと思ひます。今もなお世界では戦争が繰り返されています。だからこそ、私達は恵まれた環境にある事に感謝し、世の中の為、学校の為、何ができるかを考え、行動できる人になつてほしいと思ひます。先生方、貴重な体験をさせて頂き心から感謝申し上げます。

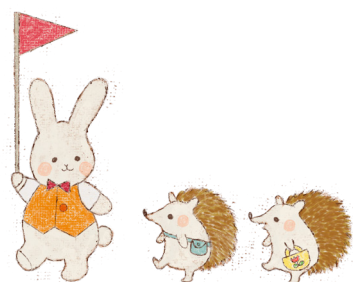


修学旅行での学び

六年 祐生の母

山崎 弥世

楽しみにしていた修学旅行の帰宅後、息子にどこが一番印象に残っているか尋





みことば作文

毎週月曜日の全校の
つどいの時間に子ども
たちは、校長先生から
聖書のお話を聴きます。
そして、そのお話を聴
いて感じたことや自分
の素直な気持ちを「み
ことば作文」として書
いています。

六月七日に行われた「みころのつどい」では、ルカ福音書に書かれている「やさしいお父さま」について校長先生がお話されました。子ども達は、校長先生のお話を聞いた後、二年生から六年生までが心に残ったこと、感じたこと、考えたことについて作文に書いています。一年生は二学期から「みことば作文」に参加することになっていますので、今回は作文がありません。

この作文は、各自が六年間フアイリングして、ポートフォリオを作り、自分の心の成長を見つめていくことになります。

ルカ福音書 15章11～32節(要約)

ある人二人の息子があつた。弟が父に向かつて言つた「お父さん、わたしがもう一財産をください」。そこで、父は財産を分けてやつた。弟は遠い国へ旅立し、放蕩に身を待ち崩し、財産を無駄遣ひしてしまつた。そこで、息子は本心に立ち返つて言つた、「そうだ、父のもとに行こつ」。父は息子を見つけ、走り寄つて口づけを浴びせた。息子は父に向かつて言つた、「お父さん、わたしは天に対してもあなたに対しても罪を犯しました」。しかし父は僕たちに言つた、「良事をして祝おう。この子はいなくなつていたのに見つかったのだから」と。さて、兄は怒つて家に入らうとした。すると父は言つた、「お前の弟は死んでいたので生き返り、いなくなつていたのに見つかったのだから祝宴を開いて、喜び合うのはあたりまえではないか」。

二年 男子

やせしおとうさんを聞いて、ベンがおとうさんのぜんさいさんのはんぶんをもちつて、せんぶつかつてもおとうさんいじ、ベンがかえつてきてくれてよろこんでくれたおとうさんが、とてもやさしいです。

また、ヨエルにもおいわいに入りなさいと言ったのがはんぶんつにやさしいです。それから、ベンをずっとまっついていて、えらいと思いました。おとうさんは、かみさま、ベンとヨエルはわたしたちのことだと知りました。

三年 女子

わたしに、この話を聞いて神さまはいつて私たちを見ていらつしやうと知つたので、とんだよくこころおひのりので今日のほんせいをしめて神さまにきういはれぬやうにまじになりましたと思ひました。

わたしもベンがお父さんにおこらわぬと思つていたけれど、お父さんはおこらなかつたのがいいなあと思ひました。なのでわたしも人にやめてくしうと思ひました。

わたしはベンのお友だちがいなくなつてかわいそうだと思ひました。でも、それは自分がわるいことだと思つていたのがベンのすけいしうがわかりました。みんなこう……



四年 女子

わたしは、やさしいお父さま」を讀んで思った事。考えた事は、わたしは兄のヨエルにしている事です。友だちを見てわたしは友だちはお父さんにしているなと思ひました。どうしてかこいつと友だちは、わたしが悪いことをしてしまふにあやまればぬくところへいれたらいいです。

五年女子

私があの話をきいてびっくりした。おさんがいさんを分けてくれて、それを使いはしたと弟が帰ってきたとき、「死んでしまったと思うにこの息子さんが帰ってきた。」だからお前もよこごひなさい」と兄に言いました。すると兄は「なせせいたくをしてくたな弟をいふわけにはいらないのですか？」と云うた。わたしは私を始めたのは兄が言ってきたせいではなかった、とあらがひた。わたしは「なせを聞くに、なるとね」と思いました。わけは、なをいふにはわたしは弟は私たちがこのおさんで、わたしは神さまだということだからです。私は、なをくした銀簪」といふてみました。「なをくした銀簪」の方はその女の人が自主的にいふにはなをくしたたが、「はつとつ息子のなをく話」は息子が自主的にいふに帰ってきたこととです。見つけたことは同じだけれど、理由・意味はちがいます。なので神さまは私たちに大切にしてほしいなをくを思いました。

六年 男子

[illegible]

保護者後援会 会長 あいさつ
愛校バザーのご案内



保護者後援会会長 池田 祐子

いつも保護者後援会の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
今年も子どもたちや保護者の皆さま、ご来校のお客様に楽しんでいただくための「愛校バザー」を開催いたします。
皆さまに喜んでいただけるよう、保護者の皆さまのご協力のもと、さまざまな工夫を凝らしたブースをご用意いたします。工夫やアイデアが詰まったバザーをぜひお楽しみください。
開催日は9月21日（日）です。ぜひ、いろいろなブースを巡って、楽しいひとときをお過ごしください。皆さまのご来校を心よりお待ちしております！



新しい先生紹介

図工専科 三重野 睦美
はじめまして。三重野睦美と申します。絵を描くことや詩を書くことが得意で、子どもたちの自由な発想や表現を大切にしたいと考えています。好きな食べ物はカレーです。毎日が楽しく、安心して過ごせるような授業づくりを目指しています。



国際交流・国際理解に向けて

英語専科 船橋 泉
英検 4・5 級合格を目指して 3 年生以上対象の放課後教室イングリッシュボックスを開いています。さらに「コミュニケーション能力UP、国際交流、国際理解を目指して、高学年は佐世保でのサマーキャンプを行ったり、「国の紹介」「将来の夢」「自然の宝」をテーマに、インドネシア姉妹校とオンライン交流を深めています。今年は更にハワイから児童が来校し、海星小学校での小学校生活を体験し、共に異文化体験を楽しみます。

充実した放課後教室

今年度から「放課後教室」は従来の「ことばの教室」と「イングリッシュボックス」に加え、「体育教室」「水泳教室」「サッカー教室」「硬筆クラス」「小学生クラス（国語・算数）」を増設しました。各専門の先生が丁寧に教えてくださり、放課後の時間が充実しました。教室によって、曜日や時間が異なります。六月現在、参加者は、延べ人数で約四十名の子どもたちが放課後教室を利用しています。

子どもたちの得意分野を伸ばし、苦手な分野を克服する、貴重な時間となっています。



本校の理科教育について

三年担任 柿木 大明
本校では、三年生から六年生の理科で、ガイアの森や南運動場の雑草園や学習園を生かした学習をしています。

今子どもたちは、春になり、チョウやバッタなどに夢中です。理科の学習はもちろん、休み時間にも、虫捕りをして、観察をしたりしています。理科学習では、このように実際に自然に触れながら、体験することを大切にしながら学習を進めています。

情報教育の推進

情報技術の発達によってインターネットやAIがわたしたちの生活に様々な変化を与えています。海星小学校では、一人に一台タブレットを使って授業で活用しています。昨年から情報科を新設し、学年に応じて、多くの情報の中から必要なものを自分の力で選び取り活用する力、情報モラル、プログラミング等の授業をしています。

プログラミングでは、論理的に考えていく力やコンピュータを活用する手順を知り、コンピュータをよりよい社会づくりに生かそうとする態度を育てるようにしています。



九州地区教員研修会

第五十回日私連九州地区教員研修会

教頭 福永 俊文

今秋の十月十七・十八日の両日、本校が会場となり、九州の私立小学校の先生方を対象とした右記の研修会を開催いたします。カトリック校である本校は、前教皇フランシスコが発表された回勅「福音の道」の精神に則った「LGS・SDGs」を見据えた主体的・対話的に学び行動する「子どもの育成」の研究テーマのもとに十一の授業を公開いたします。九州の私立の先生方に海星の子の学びの姿を見ていただけることを心よりうれしく思います。

十年に一度の研修会の年に居合わせることができた幸せを噛み締めながら、子どもたちと力を合わせ実りある一日間にして参ります。

認定こども園マリア幼稚園 「モンテッソーリ体験会」ご案内

令和 7 年 8 月 7 日 (木) 8 日 (金) 12 日 (火) の 10 時から 11 時 30 分「モンテッソーリ体験会」を実施いたします。未就園児のお子様を対象とさせていただきます。どうぞお越しください。

申込詳細につきましては、マリア幼稚園のホームページをご確認ください。

<https://f-kaisei.ed.jp/maria/>
☎ 092-565-0951



じっくりと育てます

福岡海星女子学院附属小学校

一人ひとりを大切にします

英語の海星

★★令和8年度 児童募集要項★★

森のある小学校

- 募集人員 第1学年 約35名(男女) (認定こども園マリア幼稚園からの進学者を含みます)
- 受付 小学校
- 考査料 18,000円
(※本校指定の銀行振込依頼書をお願いします。志願票の領収印欄に銀行収納印があることをご確認ください。)
- 願書受付 令和8年1月13日(火)～1月15日(木)
午前9時～午後4時
- 面接 本人及び保護者
令和8年1月17日(土)及び1月18日(日)
※集合時間は受験番号によって、願書受付の時に通知いたします。
※面接時間は1組約15分程度です。面接時は上靴は不要です。
- 考査日 令和8年1月24日(土)
志願者は、午前8時30分までに上靴を持参の上、集合してください。
- 合格発表 令和8年1月24日(土)
合否判定後に速達にて投函いたします。
電話その他によるお問い合わせは、ご遠慮ください。
- URL <http://www.f-kaisei.ed.jp/> 福岡海星女子学院附属小学校 検索



スクールバスコース

朝便3コース (令和7年4月 現在)

Aコース …福大・城南方面 (油山団地前―福岡大学前―茶山―城南区役所―梅光園1丁目―小笹―長丘―寺塚―長住東公園―桜町―柏原―海星小)

Bコース …高宮・薬院方面 (若久―神田町―西鉄高宮―西鉄平尾―浄水通り―西鉄薬院駅―三宅―和田―向新町―老司四角―海星小)

Cコース …南福岡・春日方面 (警弥郷―的場―西鉄大橋駅―塩原―高木―井尻六角―JR南福岡駅―JR春日駅―光町―大土居―JR博多南駅西口―海星小)



●乗車定員が限られていますので、公共の交通機関の利用が困難又はご家庭での送迎が困難な方を優先いたします。
希望される方全員が乗車できるとは限りません。

今後の予定

一学期

学校説明会 (一般幼稚園・保育園対象) 7月12日(土)

二学期

学校説明会 (海星ファミリー対象) 9月3日(水)・9日(火)

愛校バザー 9月21日(日)

秋の公開参観・入試説明会 10月25日(土)

ファミリー入試 (考査・面接) 11月1日(土)

マラソン大会
クリスマス会11月15日(土)
12月13日(土)

三学期

一般入学試験 (面接) 1月17日(土)・18日(日)

一般入学試験 (考査) 1月24日(土)

卒業式 3月14日(土)

修了式 3月19日(木)

ここにしかない高校生活があります。あなたにやさしい学校です。

福岡海星女子学院高等学校

グローバル特進コース

(定員: 20名)

ビジネス英語、時事や英語探究など特色ある英語カリキュラムが魅力。国立大学や有名私大への進学を目指す。

進学コース

(定員: 60名)

部活動や生徒会活動で活躍、志望分野や興味に応じで行う探究学習や資格検定にチャレンジします。

国際教養コース

(定員: 30名)

目的や予算に応じた様々な海外研修プログラムやアメリカの高校卒業資格も同時に取得できるデュアルディプロマプログラムも用意。

ブライトコース

(定員: 40名)

不登校生徒が安心して通えるコース。文部科学省指定学びの多様化学校として令和7年4月開校。

こんな素敵な
女子高があります

入試に関するお問い合わせ

高校 広報委員会 TEL 092-565-4950

<http://www.f-kaisei.ed.jp/senior/>同窓会だより
～みなさんお元気ですか～

年々、同窓会を開いている学年が増えてきているようです。もし、同窓会を開いたときには、ぜひ、卒業時の担任の先生や小学校へ連絡をください。
また、小学校にもたくさんの卒業生が近況報告に来てくれています。